

命を守る三つの行動確認

浜坂高で津波想定し避難訓練

県が定める津波一斉避難訓練の日に合わせて、浜坂高（新温泉町芦屋）は、津波を想定した避難訓練を行った。全校生徒と教員の計約180人が、揺れを感じたらすぐに安全を確認して高層階へ避難するなど、災害発生時に自身の命を守るために取るべき行動を確認した。（足立七海）

訓練は、鳥取沖断層帯で姿勢を低くする▽頭を守る震度6強の地震が発生し、▽揺れが収まるまで動かない▽揺れが収まるまで動かない・5分の津波が県北部の海岸に到達するとの想定で実施した。

地震発生を告げる緊急速報メールや校内放送を受けて、生徒は机の下に入り、

西岡智也教頭は講評で「冷静、迅速に行動ができて、有意義な訓練だった」とし



机の下に入って身の安全を確保する生徒たち。新温泉町芦屋の浜坂高

た上で、「海に隣接する高万が一の際の心構えを持つ校なので、津波想定避難しておくことが重要」と話し訓練は必須。訓練を通して